

## 採択事業 No.7

種 別：地域密着型事業

団体名：コミュニティ末広

事業名：保存版冊子「コミュニティ末広の暮らし方（仮）」の制作

交付決定額：50,000 円

### （事業を行おうとした動機）

まちで暮らす人々にとって、未だ「まち協」や「コミュニティ」は身近なものではなく、コミュニティ末広が行っているまちづくり活動についての認知度は低いままである。また、活動をしている中で、参加者の減少や役員の高齢化などにより、継続が難しくなってきたことを実感している。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでのように祭りなどの行事でコミュニティに触れてもらう機会は減るなかで、今まで以上に新たなつながりづくりの形を考える必要がある。

そのためにはまず、改めて「コミュニティ末広とは？」を知ってもらうことが必要と考え、コロナ禍でも行えて、広くたくさんの人に手に取ってもらえるよう、全戸配布による冊子の配布事業を行いたいと考えたため。

### （事業を行う目的と期待される効果）

目的：コミュニティ活動の存在を知る人を増やし、コミュニティ活動に参加を促し、より身近に感じてもらいながら、新たな担い手を探す。

効果：過去に何度も広報紙を通じてコミュニティ末広を紹介してきたが、住民の反応は芳しくなく、イベントを企画してもほとんど人が集まらない状態である。今回写真やイラストをたくさん使用してなるべくわかりやすくコミュニティ末広を紹介する冊子を作成することで、一人でも多くの方にコミュニティに興味を持っていただき、「ただ暮らしている」から「まちへの参加」、そして「まちの担い手」として活躍していただける人を一人でも多く増やしていきたいと考える。また、この冊子で公式 LINE への登録を呼びかけることで、今まで一方通行だったものが双方向になり、地域の活性化や暮らしやすいまちづくりの促進につながることを期待する。

### （事業の内容）

「コミュニティ末広のくらしかた（仮）」の制作

年 2 回発行している広報紙は情報の鮮度があまりなく、ほとんどが終わった行事の報告になるため、今年度より公式 LINE を開設し、できるだけ新鮮な広報活動を始めたが、まだまだ住民への周知の不足を感じている。そのため、保存版の冊子を制作し多くの方に活動を紹介すると共に公式 LINE への登録をお願いする。冊子の発行は今年度中を目指し、全戸配

布には子ども会の協力を得て実施する。

また、冊子の制作だけで終わるのではなく、冊子を通じて公式 LINE へ一人でも多くの方に登録してもらえる仕組みを作ることで、コミュニティの課題である、次世代の後継者問題の解決に繋げて行きたい。